

慶成館の成り立ち

2つの慶成館

JR近江今津駅西方に位置する高島市役所別館庁舎は、昭和48年2月、湖西地域広域市町村圏事務組合と滋賀県共済農業協同組合連合会の共同建築によって竣工したもので、建物には「慶成館」という名前が付けられています。この名称は、前身の郡民会館の名前を受け継いだもので、建設当初は、2階に結婚式場、3階に集会や式典ができるホールがあり、多くの郡民が出入りをする親しみのある施設であったことが想像できます。前身の「慶成館」は、明治19



竣工当時の慶成館（現在の市役所別館）

年（1886年）に当時の高島郡長・山邨 総後の勧誘により、今津町今津の辻川通り近く、現在の今津東保育園の西隣に建設されました。県下でも珍しい、郡民の公民館的性格を帯びた施設で、建設資金は、郡内の有志が拠出したことが分かっています。明治22年（1889年）に出版された『近江国農商工便覧』には、「高島郡会議所」として「慶成館」がイラストで紹介され、そこには石積み



初代の慶成館

た瓦葺き2階建ての建物と、敷地内に立つ洋風の街灯、そして多くの男女が建物に出入りしているようすが描かれています。

明治期の慶成館のようす

また、明治38年（1905年）1月9日付けの「朝日新聞」滋賀版には、その前年に始まった日露戦争に関する記事として、1月5日に「慶成館」で、ロシア側の要地である旅順が陥落したことを祝う盛大な祝賀会が開催されたこと

が掲載されています。さらに、1月15日には、「慶成館」で戦死者遺族慰藉会が開かれたという記事もあります。このように「慶成館」は、郡をあげて行う大きな行事や、公的な会合などの会場として、頻りに使用されていたようです。

なお、「慶成館」の名称は、設立当時の滋賀県知事・中井弘の命名によるもので、こうした事が、名前を引き継ぐ理由になったようです。

関文化財課 ☎(32) 4467

編集雑感

今年の冬はとても過ごしやすいですね。これも地球温暖化の影響なのか、正月寒波や節分寒波も、寒いものの雪はあまり降らず、わたしは、この時期恒例の除雪疲れもなく、元気に冬を過ごしています。しかし、わたしも含め、メタセコイア並木の冬景色を写真に収めようと降雪を心待ちにしている方も多いと思いますが、自然相手では、なかなか思うようにいかないものですね。

春の足音も、ちらほら聞こえてきますが、平成最後の「たかしまの冬」を満喫したいと思います！（Y）



広報たかしま

平成31年

3

月号

No.230

発行▼高島市

編集▼政策部企画広報課

滋賀県高島市新旭町北畑5の5番地

☎0740(25) 8000(代)
http://www.city.takahima.lg.jp
✉t:info@city.takahima.lg.jp